

平成 27 年度

石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査(芦屋市)報告書

平成 28 年 3 月

芦屋市

石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査(芦屋市)報告書

目 次

平成27年度石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査	1
平成27年度報告書様式	
表1, 2	6
表3	7
表4	8
表5-1	9
表5-2	10
表6-1	13
表6-2	14
表7	15
表8	16
表9-1	17
表9-2	18
表9-3	19
表9-4	20
表9-5	21
表9-6	22
表9-7	23
表9-8	24
表9-9	25
表9-10	26

1 調査目的

環境省では、石綿のばく露歴や石綿関連疾患の健康リスクに関する実態把握を行うため、平成 18 年度から平成 26 年度において、調査への協力が得られた地方公共団体に居住していた住民等に対して、問診、胸部 X 線検査、胸部 CT 検査等を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の所見の有無と健康影響との関係に関する知見を収集してきた。

これまでの調査により一定の知見が得られたことから、平成 27 年度以降は、石綿健康相談（仮称）の実施を見据えたモデル事業である石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査（以下「試行調査」という。）を実施することを通じて、実施主体・既存検診（肺がん検診等）との連携方法・対象者・対象地域の考え方・検査頻度・事業に要する費用等の課題等について調査検討を行った。（芦屋市においては試行調査から実施）。

2 調査実施場所

芦屋市こども・健康部・健康課 等

3 調査実施期間

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

4 調査実施方法

（1）調査対象者

原則として、次の①～③を満たす者を調査対象者とした。

- ① 芦屋市に居住している者
- ② 芦屋市が検査を実施する医療機関で検査を受けることができる者
- ③ 本調査の内容を理解し、調査の協力を同意した者

ただし、上記の条件に該当した者であっても、労働安全衛生法の石綿健康管理手帳を取得している又は交付要件に該当していた者、石綿障害予防規則により職場等で石綿に関する特殊健康診断を受けることができた者、石綿関連疾患が原因で医療機関を受診していた者は、継続的に石綿関連疾患に係る健康管理が行われていたことから、本調査の対象外とした。

調査対象者数は 12 名であった。

（2）調査実施体制

芦屋市は、環境省の委託を受けて、試行調査を実施した。

石綿ばく露者の健康管理では、質問票による石綿ばく露の聴取及び胸部 CT 検査による石綿ばく露の評価を行った。その際、可能な限り、肺がん検診等で撮影した胸部 X 線画像を取り寄せ、読影した。その結果に基づき、調査対象者に沿った保健

指導を行った。

さらに、健康管理の試行に伴い、明らかになった実務的な課題や対応方策等を取りまとめ、試行の結果とともに、環境省に報告した。

(3) 調査方法

(3) - 1. 石綿ばく露者の健康管理の試行

(ア) 石綿ばく露の聴取

芦屋市は、調査対象者に対し、本調査事業の説明、調査協力に対する同意をとり、調査登録を行い、質問票を用いて、芦屋市の職員が調査対象者の呼吸器疾患等の既往歴、本人・家族の職歴、喫煙の有無、石綿ばく露歴などを詳細に聞き取った。

石綿ばく露の聴取を行うにあたっては、石綿に関する健康管理等専門家会議による「石綿ばく露歴把握のための手引き～石綿ばく露歴調査票を使用するに当たって～平成18年10月」などを参考にした。

(イ) 石綿ばく露の評価

(イ) - 1 胸部CT検査

初回受診者への石綿ばく露の聴取の結果、石綿ばく露の可能性が認められる場合には、胸部CT検査を実施した。その際、芦屋市は、胸部CT検査の有効性やその放射線被ばくの影響等を調査対象者に丁寧に説明を行った。

(イ) - 2 読影

芦屋市は、肺がん検診・胸部CT検査を市立芦屋病院に委託し、市立芦屋病院は、石綿ばく露や石綿関連疾患について十分な知識を持った医師2名で二重読影を実施し、以下に示す画像所見①～⑨の有無の確認を行った。その際、肺がん検診で撮影した胸部X線画像をあわせて撮影日から3週間以内に実施するよう努めた。

画像所見

- ① 胸水貯留
- ② 胸膜プラーク（限局性の胸膜肥厚）
- ③ びまん性胸膜肥厚
- ④ 胸膜腫瘍（中皮腫）疑い
- ⑤ 肺野の間質影
- ⑥ 円形無気肺
- ⑦ 肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）
- ⑧ リンパ節の腫大
- ⑨ その他の所見（陳旧性結核病変など①～⑧以外の所見）

(ウ) 精密検査

読影の結果、石綿関連疾患（中皮腫、石綿による肺がん、著しい呼吸機能障害を伴う石綿肺、著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚）が疑われた場合、精密検査を実施した。

(エ) 保健指導

芦屋市は、調査対象者の健康管理に役立てるため、医師が診断をした後に、保健師より、調査対象者に対する保健指導を行った。調査対象者の健康管理を把握するために、芦屋市は以下に示す項目を記載した受診カードを適宜活用した。

受診カード記載項目

- ① 氏名
- ② 住所
- ③ 問合せ先
- ④ 肺がん検診受診勧奨文
- ⑤ 肺がん検診実施機関へのお願い
- ⑥ 肺がん検診受診歴 等
- ⑦ その他

① 精密検査が必要とされた者

認められた所見について説明し、すみやかに医療機関を受診し、医師の指示に従うよう指導した。

② 所見を有しているが、精密検査の必要がないとされた者

認められた所見について説明し、直ちに医療機関を受診する必要はないが、経過観察を行うことが望ましい旨を説明した。適宜、石綿による健康リスクについて説明し、肺がん検診の受診勧奨や禁煙指導等を行った。その際、調査対象者に対して、「受診カード」を配布した。

③ 所見を有しない者

所見が認められないことを説明し、不安の軽減に努めた。適宜、肺がん検診の受診勧奨や禁煙指導等を行った。石綿ばく露の聴取の結果、環境ばく露の可能性が高いと思われる者や希望者に対しては、各対象自治体等の判断により、「受診カード」を交付した。

(オ) 調査対象者のフォローアップ

調査対象者のうち、「受診カード」を配布した者に対して、毎年の肺がん検診の受診状況を把握し、未受診者に受診勧奨を行った。

(カ) 経過観察

(エ)において、①と判断された者については、調査対象者の同意を得て、医療

機関への照会を行い診断結果や治療経過等の把握に努めた。

(3) - 2. 効果的・効率的に健康管理を実施するための調査・検討

健康管理の試行に伴う課題の抽出

芦屋市は、芦屋市の担当者、医療機関の担当者、調査対象者等に対して、ヒアリング調査又はアンケート調査等を実施することにより健康管理の試行に伴う①～⑩の課題について抽出した。なお、様式は、芦屋市で作成した。

- ① 実施体制に関する課題
 - ・ 行政機関、医療機関、調査対象者との連絡調整 等
- ② 既存の検診事業との連携に関する課題
 - ・ 既存の検診事業で実施する胸部 X 線検査の画像を活用すること 等
- ③ 人員・施設等の確保に関する課題
 - ・ 読影を行う石綿の専門家
 - ・ 胸部 CT 検査等を実施する医療機関 等
- ④ 調査対象者に関する課題
 - ・ 年齢・性別・石綿ばく露歴を踏まえた調査対象者の選定 等
- ⑤ 調査対象地域に関する課題
 - ・ ○○市における石綿ばく露地域の考え方 等
- ⑥ 検査内容・検査頻度に関する課題
 - ・ 調査対象者や前回の検査結果等に応じた検査の頻度
 - ・ 胸部 X 線検査等の画像の取扱い 等
- ⑦ 結果の通知及び保健指導に関する課題
 - ・ 石綿関連所見が見つかった場合、見つからなかった場合の対応 等
- ⑧ 費用に関する課題
 - ・ 既存の検診事業に係る費用負担の在り方
 - ・ 石綿対策の専門家の招へいに係る費用
 - ・ 画像データ等、健康管理を通じて得られた情報の保存に係る費用 等
- ⑨ 制度の管理に関する課題
 - ・ 検査や読影、データ管理等の精度管理の方法、事業評価の方法 等
- ⑩ その他、健康管理の試行に伴って生じた課題

(3) - 3. 報告

芦屋市は、以下の事項について結果をとりまとめ、環境省へ報告した。

- ① 受診者数
- ② 石綿関連所見ごとの有所見者数
- ③ 石綿関連疾患の該当者数
- ④ 健康管理の試行に関する実務的な課題及び対応方策 等

(3) - 4. 広報活動

芦屋市は、募集に関して、ホームページ、広報あしやなどの広報活動を行った。

平成27年度報告書様式

表1 項目別人数

受診内容	合計
	(人)
石綿ばく露の聴取	12
肺がん検診	12
胸部CT検査	12
保健指導	12

※平成28年2月28日現在

表2 年齢階層別人数

	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
40歳未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40～49歳	2	16.7%	2	22.2%	0	0.0%
50～59歳	2	16.7%	1	11.1%	1	33.3%
60～69歳	4	33.3%	3	33.3%	1	33.3%
70～79歳	3	25.0%	2	22.2%	1	33.3%
80～89歳	1	8.3%	1	11.1%	0	0.0%
90歳以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	12	100.0%	9	100.0%	3	100.0%

※石綿ばく露の聴取、肺がん検診、胸部CT検査、保健指導のいずれか1つ以上受けた者

※平成28年2月28日現在

表3: 調査対象者に関するばく露歴集計表

ばく露歴分類	ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境ばく露あり	オ.その他	小計		合計	
						計	うち女性	計	うち女性
ア	● ●			●	●	3 1	0 0	4	0
イ		●				1	0	1	0
ウ			●	●		1	1	1	1
エ				●		2	0	2	0
オ					●	4	2	4	2
合計※	4	1	1	4	5	12	3	12	3
うち女性※			1	1	2				

※ 縦計については、重複計上により算定した。

※ 石綿ばく露の聴取のみの者を除く。

表4：調査対象者に関するばく露歴分類と年齢階層別のクロス表

年齢階層	合計		ア. 主に直接職歴		イ. 主に間接職歴		ウ. 主に家庭内ばく露		エ. 主に立入・屋内環境ばく露		オ. その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
50～59歳	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
60～69歳	4	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1	0
70～79歳	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1
80～89歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	3	4	0	1	0	1	1	2	0	4	2

※平成28年2月28日現在

※石綿ばく露の聴取のみの者を除く。

表5: 調査対象者に関するばく露歴分類と画像所見のクロス集計表

5-1表: 胸部CTの画像所見について

	合計		ア主に直接職歴		イ主に間接職歴		ウ主に家庭内ばく露		エ主に立入・屋内環境ばく露		オその他		
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	
調査対象者	12	3	4	0	0	1	0	1	1	2	0	4	2
胸部CT受診者	12	3	4	0	0	1	0	1	1	2	0	4	2
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	4 (1)	2 (1)	1	0	0	0	0	1 (1)	1 (1)	1	0	1	1
①胸水貯留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②胸膜ブ ラーク(胸 膜肥厚斑)	2 (1)	1 (1)	1	0	0	0	0	1 (1)	1 (1)	0	0	0	0
③びまん 性胸膜肥厚	3 (0)	1 (0)	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
④胸膜腫 瘍(中皮腫) 疑い	1 (0)	1 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
⑤肺野の 間質影	1 (0)	0 (0)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥円形無 気肺	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦肺野の 腫瘤状陰影 (肺がん等)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧リンパ節 の腫大	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②胸膜ブ ラーク且つ ⑤肺野の間 質影あり※1	1 (0)	0 (0)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸部CT未受 診者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※①～⑧は重複計上含む。

※()は所見疑いを再掲している。

※1 胸膜ブランク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上している。

※石綿ばく露の聴取のみの者を除く。

表5-2: 調査対象者に関する石綿関連所見が見られた者の年齢階層別(胸部CTの画像所見)

①~⑧の年齢階層別集計

①胸水貯留

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0 ()	0 ()										
40~49歳	0 ()	0 ()										
50~59歳	0 ()	0 ()										
60~69歳	0 ()	0 ()										
70~79歳	0 ()	0 ()										
80~89歳	0 ()	0 ()										
90歳以上	0 ()	0 ()										
合計	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()

※()は所見疑いを再掲

②胸膜プラーク(胸膜肥厚斑)

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0 ()	0 ()										
40~49歳	0 ()	0 ()										
50~59歳	0 ()	0 ()										
60~69歳	1 (1)	1 (1)					1 (1)	1 (1)				
70~79歳	0 ()	0 ()										
80~89歳	1 ()	0 ()	1									
90歳以上	0 ()	0 ()										
合計	2 (1)	1 (1)	1 ()	0 ()	0 ()	0 ()	1 (1)	1 (1)	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()

※()は所見疑いを再掲

③びまん性胸膜肥厚

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0 ()	0 ()										
40~49歳	0 ()	0 ()										
50~59歳	0 ()	0 ()										
60~69歳	2 ()	1 ()					1	1	1			
70~79歳	0 ()	0 ()										
80~89歳	1 ()	0 ()	1									
90歳以上	0 ()	0 ()										
合計	3 ()	1 ()	1 ()	0 ()	0 ()	0 ()	1 ()	1 ()	1 ()	0 ()	0 ()	0 ()

※()は所見疑いを再掲

④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0										
40～49歳	0	0										
50～59歳	1	1									1	1
60～69歳	0	0										
70～79歳	0	0										
80～89歳	0	0										
90歳以上	0	0										
合計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

※()は所見疑いを再掲

⑤肺野の間質影

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0										
40～49歳	0	0										
50～59歳	0	0										
60～69歳	0	0										
70～79歳	0	0										
80～89歳	1	0	1									
90歳以上	0	0										
合計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

⑥円形無気肺

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0										
40～49歳	0	0										
50～59歳	0	0										
60～69歳	0	0										
70～79歳	0	0										
80～89歳	0	0										
90歳以上	0	0										
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

⑦肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	()	0	()								
40～49歳	0	()	0	()								
50～59歳	0	()	0	()								
60～69歳	0	()	0	()								
70～79歳	0	()	0	()								
80～89歳	0	()	0	()								
90歳以上	0	()	0	()								
合計	0	()	0	()	0	()	0	()	0	()	0	()

※()は所見疑いを再掲

⑧リンパ節の腫大

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	()	0	()								
40～49歳	0	()	0	()								
50～59歳	0	()	0	()								
60～69歳	0	()	0	()								
70～79歳	0	()	0	()								
80～89歳	0	()	0	()								
90歳以上	0	()	0	()								
合計	0	()	0	()	0	()	0	()	0	()	0	()

※()は所見疑いを再掲

②胸膜ブランク且つ⑤肺野の間質影あり

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	()	0	()								
40～49歳	0	()	0	()								
50～59歳	0	()	0	()								
60～69歳	0	()	0	()								
70～79歳	0	()	0	()								
80～89歳	1	()	0	()	1							
90歳以上	0	()	0	()								
合計	1	()	0	()	1	()	0	()	0	()	0	()

※()は所見疑いを再掲

※胸膜ブランク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上している。

表6-1:平成27年度から石綿関連疾患と診断された者の診断状況

	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
試行調査が発見の契機												
a. 中皮腫												
b. 肺がん												
c. 石綿肺												
d. 良性石綿胸水												
e. びまん性胸膜肥厚												
小計												
試行調査以外が発見の契機												
a. 中皮腫												
b. 肺がん												
c. 石綿肺												
d. 良性石綿胸水												
e. びまん性胸膜肥厚												
小計												
合計												
a. 中皮腫												
b. 肺がん												
c. 石綿肺												
d. 良性石綿胸水												
e. びまん性胸膜肥厚												
合計												

※()は所見疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

表6-2:平成27年度から石綿関連疾患と診断された者の労災、石綿救済法の認定状況

	合計		ア主に直接職歴		イ主に間接職歴		ウ主に家庭内ばく露		エ主に立入・屋内環境ばく露		オその他	
	労災	石綿救済	労災	石綿救済	労災	石綿救済	労災	石綿救済	労災	石綿救済	労災	石綿救済
	計	うち	計	うち	計	うち	計	うち	計	うち	計	うち
試行調査が発見の契機												
a. 中皮腫												
b. 肺がん												
c. 石綿肺												
d. 良性石綿胸水												
e. びまん性胸膜肥厚												
小計												
試行調査以外が発見の契機												
a. 中皮腫												
b. 肺がん												
c. 石綿肺												
d. 良性石綿胸水												
e. びまん性胸膜肥厚												
小計												
合計												
a. 中皮腫												
b. 肺がん												
c. 石綿肺												
d. 良性石綿胸水												
e. びまん性胸膜肥厚												
合計												

※()は所見疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

表7:石綿関連疾患と診断された者の発見契機別

	合計		試行調査		試行調査以外														
	合計	うち女性	計	うち女性	住民健診		職場健診		人間ドック		自覚症状		他疾患治療中		その他		不明		
					小計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	
a. 中皮腫																			
b. 肺がん																			
c. 石綿肺																			
d. 良性石綿胸水																			
e. びまん性胸膜肥厚																			

※()は所見疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

表8:平成27年度から石綿関連疾患と診断された者の年齢階層別分類表

年齢階層	合計		a. 中皮腫		b. 肺がん		c. 石綿肺		d. びまん性胸膜肥厚		e. 良性石綿胸水	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	()										
50～59歳	0	()										
60～69歳	0	()										
70～79歳	0	()										
80～89歳	0	()										
90歳以上	0	()										
合計	0	()	0	()	0	()	0	()	0	()	0	()

※()は所見疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

表9:健康管理の試行に伴う課題の抽出

表9-1実施体制に関する課題

・行政機関(市区町村、都道府県、国)、医療機関、調査対象者との連絡調整

【実施体制】

受付・問診・保健指導：芦屋市保健センター
(芦屋市こども・健康部健康課)

検査実施・読影：市立芦屋病院

【課題】

- ・受診者情報は、芦屋市保健センターと市立芦屋病院間の共有フォルダに暗号化した受付簿を共有したため、誤りなく連絡ができた。
- ・問診時に連絡の取りやすい連絡先（携帯電話番号）を確認することで、受診者との連絡も問題なくできた。

・その他

表9:健康管理の試行に伴う課題の抽出

表9-2既存の検診事業との連携に関する課題

・既存の検診事業で実施する胸部X線結果の画像を活用すること

【既存事業】

ア) アスベスト検診：胸部レントゲン検査 線量を高めに設定して石綿に関する所見を発見しやすい

イ) 肺がん検診：集団検診は保健センターで胸部レントゲン撮影
(特定健康診査と同時実施・単独実施)
個別検診は市内実施医療機関で胸部レントゲン撮影
(特定健康診査と同時実施・単独実施)

【課題】

・ア) アスベスト検診では、兵庫県健康管理支援制度による健診カード保持者がアスベスト検診を申し込まれた際には、CT検査希望の有無を確認し希望の場合は試行調査への参加を促し、混乱はなかった。

・イ) 肺がん検診は上記の個別がん検診を試行調査の前に、市立芦屋病院以外の実施医療機関で同一年度内に受診してしまうケースがあった。

・実施にあたり、肺がん検診と試行調査と2つの結果が市民に知られることによって混乱を招くことが予測されたため、試行調査と肺がん検診を同時実施する方式をとり、試行調査参加者は全員、肺がん検診のレントゲンとCT検査の結果をあわせて、市立芦屋病院で読影することとした。

受診者12名中 肺がん検診(レントゲン) 試行調査(CT検査) いずれも異常なし：4名
試行調査(CT検査)のみ経過観察：7名
肺がん検診(レントゲン) 試行調査(CT検査) いずれも要精密検査：1名

・その他

表9:健康管理の試行に伴う課題の抽出
表9-3人員・施設等の確保に関する課題

・読影を行う石綿関連疾患の専門家

石綿関連疾患の専門家は市内には存在しなかったため、専門委員会開催の代わりに、二重読影での実施とした。

石綿試行調査に係る胸部CT検査の実施と胸部X線・CT検査の二重読影が可能な市内医療機関は1医療機関のみであり、現状と同様の方法での受診可能人数は100名までとなる。

・胸部CT検査等を実施する医療機関

石綿試行調査に係る胸部CT検査の実施と胸部X線・CT検査の二重読影が可能な市内医療機関は1医療機関のみであり、現状と同様の方法での受診可能人数は100名までとなる。

・保健師・事務職員等の非常勤職員の確保、トレーニング

保健指導方法・内容について、検討が必要。

・その他

表9:健康管理の試行に伴う課題の抽出

表9-4調査対象者に関する課題

・年齢・性別・石綿ばく露歴等を踏まえた調査対象者の選定

受診者の年齢は40歳代～80歳代まで幅広く、男性が9名で女性より多かったのは、職場でばく露歴があり心配して受診されたためだった。

想定された震災の影響を心配しての受診者はなく、尼崎市からの転入者が1名だった。

・その他

表9:健康管理の試行に伴う課題の抽出

表9-5調査対象地域に関する課題

・市区町村内における石綿ばく露地域の考え方

芦屋市では、石綿ばく露地域が明確ではない。尼崎市の近隣であること、阪神淡路大震災の被災地であることから、市民の不安が高いことが推測されたため、市全域を対象として試行調査を実施することとした。

受診者数は少なく、また受診者の居住地は市内の一部地域に偏ることはなかった。

・その他

表9:健康管理の試行に伴う課題の抽出
表9-6検査内容・検査頻度に関する課題

・調査対象者や前回の検査結果等に応じた検査の頻度

芦屋市は試行調査からの実施のため、前回の検査結果はなかった。
今後のCT検査の頻度については、環境省からの指示や他自治体からの情報を得て検討が必要である。

芦屋病院の検査担当者からは、胸部CT 検査を実施するならば、胸部X線検査は必要がないのではないかと意見をもらっている。

・胸部X線検査等の画像の取扱い

胸部X線撮影を、個別肺がん検診として、試行調査の委託医療機関で同時に行なったためとくに問題は生じなかった。

・その他

表9:健康管理の試行に伴う課題の抽出

表9-7結果の通知及び保健指導に関する課題

・石綿関連所見が見つかった場合、見つからなかった場合の対応

石綿に係る所見だけでなく所見があった場合の保健指導では、受診者に聞く姿勢が見られたが、所見がなかった場合の保健指導では、受診者は結果の受け取りのみで聞く姿勢が見られず、次回の受診勧奨に留まった。

・調査対象者の不安への対応

不安の訴えのあった場合には、兵庫県の健康管理支援制度の紹介と、その指定医療機関への受診を勧める予定にしていたが、不安の訴えはなかった。

・その他

表9: 健康管理の試行に伴う課題の抽出

表9-8 費用に関する課題

・既存の検診事業に係る費用負担の在り方

芦屋市では、他のがん検診との均衡を考え、精密健康診査は保険診療としている。しかし精密健康診査の結果、経過観察となれば兵庫県健康管理支援制度、要治療となれば救済法により、精密健康診査費用も補償の範囲となる。

今後調査期間中に、兵庫県の健康管理支援制度が終了となるようなことがあれば、検討する必要がある。

・石綿対策の専門家の招へいに係る費用

芦屋市では、専門委員会を開催していません。

・画像データ等、健康管理を通じて得られた情報の保存に係る費用

画像データ等、情報の保存に費用は発生していません。

・その他

表9:健康管理の試行に伴う課題の抽出

表9-9精度の管理に関する課題

・検査や読影、データ管理等の精度管理の方法、事業評価の方法

検査・読影の精度管理は、1 医療機関への委託のため精度の問題点の抽出が難しい。データ管理については、医療機関受診時と同様に保管・管理されていると聞いているが、確認まではできていない。

事業評価については、調査対象者数が12名と少なく、実施評価となる。成果評価ができるように調査対象者数の増加のため、周知を強化する必要がある。

・その他

表9:健康管理の試行に伴う課題の抽出

表9-10その他、健康管理の試行に伴って生じた課題

・自治体主導ならびに企業主導の検診（例：石綿関連企業による住民検診等）とのすみわけ、
両立について

特になし

・その他

平成 27 年度環境省委託業務報告書
平成 27 年度石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査（芦屋市）委託業務

平成 28 年 3 月 31 日

発注者 環境省総合環境政策局
環境保健部企画課石綿健康被害対策室
TEL : 03-5521-6558 FAX : 03-5510-0122
[E-mail: ISHIWATA@env.go.jp](mailto:ISHIWATA@env.go.jp)

受託者 住所：兵庫県芦屋市精道町 7 番 6 号
名称：芦屋市